

商 況

販賣旬報 第103號 昭和4年8月21日

滅び行く問屋 海外便り第十三便

問屋の定義及種類 こゝに問屋と名づくるのは、主として国内消費向鋼材類の取扱を目的とし、生産工場と消費者の中間に介在し、自己の危険に於て買付け、在庫し、且賣捌を爲す商人の謂である。従つて輸出入業者を含まない。又自己の危険に於てすることなき純然たる取次商卸口銭商内のみを目的とするものを含まない。

かゝる種類の商人の一團をば生産工場との関係の深淺から觀察して、隷屬問屋と獨立問屋の二種に分類する。隷屬問屋と言ふのは、生産工場又は工場團體との間に資本關係の交錯、資金の供與、損益の分配と言ふ如き極めて密接なる關係を有し、其の營業振りは、工場販賣部が獨立して別似の會社と爲つたやうな氣持でやつて行くのである。工場から見れば工場計算で損をしても、販賣會社が利益を擧げれば宜いと觀じ、販賣會社から見れば、自分は元値でも結局工場の利益にすれば宜いと考えるのである。問屋が思惑すると言つても、それは自分の工場に何をつくらすべきかの考慮から出發する。つまり、工場會社と販賣問屋の間には一心同體に近い密接な關係を保持して行くものである。従つてこの隷屬問屋は所謂問屋の業務を營むものであつても、實は問屋でないのである。

獨立問屋と言ふのは、日本の所謂問屋に該當するもので、古くから自己の資本と危険とに於て獨立に營業し、工場に對しては全く別個の存在として利害を争ふ類である。仕入は工場を叩いても安く買はうし、値上げでもあれば苦情の口實を見付けて値引でもして貰ふと言ふやり方である。本稿に歐州の問屋は亡びつゝあると言ふのは、この部類の問屋のことである。獨立問屋の商權が急激なる速度を以て隷屬問屋に奪はれつゝあると言ふのである。

問屋業は榮え問屋は亡ぶ 大陸の商取引界に明るい人に質問して見る。大陸の問屋と言ふものは將來とも永く生命のあるものであらうか、と。此の質問に關する解答は多くの場合、全然異つた二個の斷言に依つて提供される。

一人は曰ふ。大陸の各工場は資本の合同に次いで企業の聯合が行はれ、各個の工場は大量生産に可能ならしむる爲めの必然的要求に促され、品種の單化と二種の分化が目認されて來た。1生産單位としての各個の工場はなるべく少き品種寸法に付き單一簡明なる工程をえらんで作業しつゝある。一方、需要界の形勢は必ずしも斯かる生産工程の變化に順應して歩調を合せることは出來ない。何となれば一個の建築、一個の造船に使用せらるゝ品目寸法は、雜多のものゝ組合せと、少からざる長さの切揃えとを必要とするからである。かくして生産界の單純化と需要界の複雑性との間の間隔は生産工場の合理化進捗に伴うて、日と共に擴大せむとする。寸法の組合せと長さの切揃とは此の種の問屋業者に與へられたる特權として、斯かる營業に對し、將來益々其の重要性を有たしめつゝあるではないか。斯かる小手先の仕事が、單一作業を強いらるゝ工場にとつても又無用の在庫を抱き得ざる消費界にとつても、自ら爲し得ざる處だからである、と。

他の一人は曰ふ。問屋と言ふ階級は將來必ず亡びて行く、大陸工場の合理化運動は資本の併合に出發し、企業の聯合に半げし、國際的統制に完成したが、其の一半の目的は、從來數人團體によつて掌握されつゝあつた市場の管理權を回收して、工場團體の手に收めると言ふ處にあつた。しかも其の當初の目的は今日見事に達成せられて、國內市場は勿論のこと世界の市場は工場團體の心のまゝに動かせることゝなつた。斯かる状態の展開せられた今日以後に於て、工場團體に對立して、之と利害を争ふが如き階級の榮え行くべき謂れがない。現に最近毎日の新聞に見らるゝ破産者の大部分は問屋業者ではないかと。

以上表面相容るゝを得ざる二個の解答が提示する矛盾を解く爲めに、豫め用意して置いたが前記隷屬問屋と獨立問屋との區別である。合理化運動の進捗と共に中間機關たる問屋營業の重要性が加重せられて來るのは當然である。従つて自ら買付け、在庫し、賣捌くと言ふ小手先の仕事は決して亡びるものでない。即、觀念として問屋營業は益々榮え行くべき運命にある。然しながら、商人團體の權力が日と共に工場團體の手に收められて行く状態の下に於て商取引界に支配權を有する工場團體が、何人をして、問屋營業を營ましむべきかは彼等の任意に決定し得る處である事實、こゝ數年間に於ける大陸の大勢は、強大なる權力の保持者たる工場團體が、獨立問屋から其の勢力を奪ひ來つて之を自己の隷屬問屋に與ふると言ふことに終始したのである。問屋と言ふ營業は必要であるから無くするわけには行

かない。然し、自己の工場能力を託する營業者としては、自分と一心同體たる業者を措いて、獨立にして時には自分と利害を争はうとまでする者を探すべき道理はない。即、問屋營業なるものは隸屬問屋の店頭に於て益々榮え行く代りに獨立問屋は日と共に亡びて行く。これが最近に於ける大陸の趨勢であり、實情である。

市場管理權の移動と問屋の金融 斯かる事象を見ること決して偶然ではない。其の因つて來る原因が甚だ明瞭である。即、第一には從來商人團體に依つて掌握せられて居た市場コントロール權限は今や全く工場團體乃至は之を代表する隸屬問屋の手に回收せられたことである。資本の合同に次いで企業の聯合が行はれ、各國を通じて、各個の工場は一團となつて販賣上の統制を完成した。各工場が各問屋から天秤にかけられ、競争的にどらさるゝことが無くなつたのみか、寧ろ之と全く反對の事柄が、工場團體に依つて行はるゝやうになつた。各國の國內需要は其の國限りに於て處理せられる。其の國內にはそれぞれのトラストが完成して値段を一定する。販賣の統制を組織する。市場管理の權限は全く工場團體の手に收められて、商人階級は手も足も出ないのである。斯かる工場團體は其の品物を誰に捌かせやうと勝手である。自分の工場の味方となり、之と利害を共通にするものを措いて、全然別個獨立の存在として利害を争ふ獨立問屋に特別のフェーバーを與へやう道理がない。

第二には金融關係である。普通問屋は工場から1ヶ月拂で買ふことを原則とし、消費者には2ヶ月拂、長きは3ヶ月拂もあると言ふ。此の資金の融通に付ても、隸屬問屋は工場團體から特別の便宜が與へられる。例え、獨乙の如きは工場團體の中央機關に交互計算の組織もあり、場合に依つては問屋の爲めに手形の割引でも、金融の世話もするやうである。資本關係に密接な姉妹社會相互に見るが如き便宜は、外面からの推測以上のものがあるとのことである。反之、獨立問屋は工場團體とは全く離れて、獨立に金融せねばならぬ。況んや工場團體の覺え芽出度からぬ獨立問屋が取引銀行からとて好感を持たるゝ筈がない。最近續々と仆れて行く獨立問屋の辿つた經路は調べて見るも必要もない程明瞭と言はればならぬ。

問屋業の合理化 要之、大陸に於ける生産工場の合理化は必然的に問屋業の合理化を促したのである。問屋業合理化運動の要諦は生産工場との提携に外ならなかつた。工場團體の味方となり、之と利害を共にし、之と一心同體になると言ふことに在つた。彼等が大量に買付けを爲し、在庫をすると言ふけれども、これは、自己の隸屬する工場に何を作すべきかの考慮から出發する。彼等の思惑は市場の虚をれらうとか、濡れ手で粟をつかもうとする類ではなくして生産工場に對する好意ある製作命令に外ならぬ。彼等の營業は自己の思惑ではない。自己を捨てたる工場の爲めにする責任ある能力の消化である。工場と一心同體となつて國內市場をコントロールすることである。工場に對してマケロとかヒケロとか言ふ驅引てはないのである。大陸に於ける國內消費は吾等には直接の關係はないけれども、以上の如き最近の状態は、母國に於ける工場、輸入業者及問屋にとつては、最も尊重せねばならぬ他山の石ではあるまいか。(7月8日 ベレンガリヤ號にて)

重軌條に就て 本年4月より7月に至る4ヶ月間一 $\frac{1}{2}$ 年一に於ける、重軌條の當所契約高は約10萬噸にして、本年の豫想需要高 22萬噸に對し殆んど7割に近き受注をなしたる譯で、如何に外注驅逐が徹底的に遂行されたかと云ふ事が充分證明されるであらう。之は一に官民協力、國產獎勵に精進した結晶と云ふことが出来る。

上期に於ける此調子を以て進んだなら本年は夥たしき數量に上り荷捌きに一層の苦心を要する筈であつた、然るに過般の政變以來其政策と之に伴ふ爲替の昂騰に原因して需要者側の買控へを誘致したる爲稍緩慢なる状態とはなつたが、當所としては此機會を利用し夏季中に於ける生産減による期限遅れの所理にも好都合となり却つて荷捌きの圓滑を來した。

例年の例として新秋の候に入ると共に今秋及來春所要の爲めの商談も相當ある模様で、數字的には未だ確乎たることは云へぬが、政變當所一般が豫期した程の需要減を豫想すべき何等の材料も今の處は持つて居らぬ。

旬報外第7號の正誤と改正

1. 「指定寸法及定尺の一覽表」中下の通り訂正す。

- A 丸 鋼、 徑 $50^m/m$ — $100^m/m$ の長さ 15' 18' とあるを凡て長さを 18' に訂正。
- B 角 鋼、 徑 $19^m/m$ — $100^m/m$ の長さ 15' 18' とあるを凡て長さ 18' に訂正。
- C 平 鋼、

巾	厚さ			長さ		
				誤		正
1 3/4"	1/4"	3/8"	1/2"	15'	18'	18'
1 7/8"	3/8"			"	"	"
2"	1/4"	3/8"	1/2"	5/8"	3/4"	1"
2 1/4"	1/4"	3/8"				
2 1/2"	1/4"	3/8"	1/2"	5/8"	3/4"	
3"	1/4"			15'	18'	18'
3"	3/8"	1/2"	5/8"	4/3"		12' 18'
3 1/2"	3/8"	1/2"	5/8"	3/4"		" "
3 5/8"	3/8"	1/2"				12', 18', 20'
4"	1/4"	3/8"	1/2"	5/8"	3/4"	1"
5"	1/4"	3/8"	1/2"	5/8"	1"	

D 溝形鋼、

次の1項を追加す。

フランジ	厚さ	長さ	1ロール経済噸數	區分
300 ^m /m × 90 ^m /m	9 ^m /m	25' 30' 33' 36' 40'	350	第一種寸法

2. 「工場別指定寸法ロール表」 中下の通り訂正す。

A 工形鋼。230 × 100° 250 = 125 の 2 寸法は第 2 大形工場とあるを第 3 大形工場とす。

B 等邊山形鋼。200 を第 3 大形工場に追加す。

3. 尙旬報號外第 7 號の「指定寸法及定尺一覽表」は誤謬多き爲め近々改版發行すべきに付該版により處理せら度。

旬報訂正

1. 一旬報第 101 號

「製品目錄に登載なき米突寸法物單重に關する件」中下の通り訂正す。

第一行「三位以下第四位」とあるを「上位より五桁目」と訂正。

第二行「三位」とあるを「四桁」と訂正。

2. 旬報第 102 號「米突化其他通報」中次の通り訂正す。

「一」に於ける不等邊山形鋼米突化中。

(誤) 7 耗 × 125 耗 × 75 耗	第二種寸法	四型鋼	(正) 7 耗 × 125 耗 × 75 耗	第二種寸法	四型鋼
10 耗 × " × "	"	"	10 耗 × " × "	第一種寸法	"
13 耗 × " × "	第一種寸法	"	13 耗 × " × "	第一種寸法	"

とあるを
に訂正す

「五」にある「等邊山形鋼 45^m/m 及 50^m/m の定尺改正」を次の通り訂正す。

	誤			正		
	舊		新	舊		新
45 ^m /m	20' ~ 40'	18', 20', 25', 30', 20' ~ 40'		45 ^m /m	18' ~ 20'	18', 20', 25', 30', 18' ~ 30'
60 ^m /m	20' ~ 40'	20', 25', 30', 36', 20' ~ 40'		50 ^m /m	20' ~ 40'	20', 25', 30', 36', 20' ~ 40'

8 月中旬線材、薄板、鋳力板、輸入速報

港別 \ 品名	線			薄板		鋳力板	
	B. W. G. No. 5	其他	計	上中旬計	0.7 耗以下	上中旬計	上中旬計
神戸	1,837	502	2,339	5,958	418	1,157	502
大阪	498	—	498	1,000	379	1,031	80
横濱	325	54	376	1,443	132	1,570	123
計	2,660	556	3,216	8,401	929	3,758	705

備考 神戸、自 8 月 8 日至 8 月 17 日、大阪自 8 月 9 日至 8 月 17 日、横濱自 8 月 8 日至 8 月 16 日

東西市況一閑散 猛夏の絶頂にあつた前旬は何處も取引至つて淋しく、特に大阪は鐵商の好きな野球シーズンとて纏まつた商談もなく帳端を眼前に控へて總てに氣乗薄の状態である。

在庫としては總體に漸減の様態ではあるが、澎湃として漲つて居る目先安の諸材料に押されては如何とも手の付け様なく徒に轉機の時期を袖手傍觀するのみである。

東京市況

丸鋼。當所の先物の灰汗抜き値安により稍落ち付き掛けた矢先中央郵便局の87圓20銭と云ふ法外の落札値安を眺めて復々動搖の色ある處へ今日(九日)あたり大阪より臺割れの電話さへ入り市場に一抹の暗影を投じたと云はれてゐる

角、平鋼。角は永い間の高値を繼續し 25m/m の如きは近來緩和されたと云ふてもまだ 13 圓 5、80 銭を保ち 44 は最近擡頭11圓丁度と呼んで居る。平は入荷の調節はありたるも未だ全般に不冴、小池の域を脱することが出来ない

型鋼。半歳以上も腐れ切つた中型等山も窮すれば通ずる前旬以來漸く底を突き大阪の強氣に氣をよくして居る模様である、大型等山も望を囁され 150 は近來西筋へ引かれて上放れ氣味である。不等山は大した變化もないが稍軟調に轉じたと見られてゐる。溝は強保合を續け 5/8×3×6 は西へ抜かれて品薄となつて硬化した其他も目先よしと云はれて居る。工は概ね好調を失はざるも、最早此邊が絶頂と見て居る筋もあつて高値唱へてはあるが賣行稍不振となつたと云はれて居る。

鋼板。4.5 の昂騰未だ止まず 3×6、15 圓 50 銭、4×8、15 圓、5×10、15 圓 2、30 銭となつたが最早此上の伸力は望めない模様である 3.2 は稍落潮を呈して居るが 6.0 は再び前途を囁望される様になつた。

大阪市況

丸鋼。適時英斷による先物値段の發表は稍市場を安定せしめた觀がある、市價としては一步安値を辿りつゝあるも恐怖的の狼狽投は見當らないと云はれて居る。

角、平鋼。角は無難に推移し平は伸力鈍くさりとて深押もない。

型鋼。中型等山は引き続き堅調を不失 150 が品拂底の爲上放れたのが眼立つて居る。不等山は先づ保合と云ふ程度と見られ大型物が最近實需に消化された數量も少くないと睨まれて居る。溝は依然品薄状態に好調を保合 2×4 の反落も大した事もなく 2½×5 より 3×6 と循環的に引き締つて來た。工は良好ながら稍需要の減退を感ぜられる模様である。

鋼板。4.5 は區々ながらも 6.0 と共に相當高値に落付いて居る、其他不變。

外國爲替市中相場

區分 / 月日	Aug. 8	9	10	12	13	14	15	16	17	19	20
日 英	1/4 - 3/8	1/4 - 1/2	1/4 - 1/8	"	1/4 - 5/8	"	1/4 - 1/8	"	1/4 - 1/8	"	1/4 - 3/8
日 米	46 - 7/8	46 - 1/8	46 - 3/4	"	46 - 13/16	"	46 - 3/4	"	46 - 5/8	"	46 - 1/16
日 佛	11.80	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"

備考 日佛のみ正金建値。

東京大阪市中相場

{東京 8月19日
{大阪 8月15日

丸	鋼		東京		大阪		東京		大阪	
	東京	大阪								
6m/m	9.70	9.00	3/4 × 2	"	"	3/8 × 4 × 6	"	9.80	9.60	
9	9.40	9.50	3/4 × 3	9.70	9.70	1/2 × 4 × 6	9.80			
12	"	9.40	3/8 × 4	"	10.00	溝形鋼				
19	9.10	9.00	1/2 × 4	"	10.40	1/4" × 2" × 4"	14.50	13.50		
25	"	"	等邊山形鋼			0.312 × 2 1/2 × 5	11.30	12.00		
50	10.40	10.50	m/m m/m m/m	9.50	10.00	3/8 × 3 × 6	11.20	"		
65	9.90	10.40	6 × 50 × 50	9.30	9.35	3/8 × 3 × 8	11.00	10.40		
9m/m	角		6 × 65 × 65	9.30	9.70	3/8 × 3 1/2 × 10	12.00	12.00		
	10.50	9.80	9 × 75 × 75	9.70	"	3/8 × 3 1/2 × 12	14.00	13.50		
12	10.40	10.20	9 × 130 × 130	9.90	9.80	工形鋼				
15	"	"	12 × 130 × 130	10.10	12.00	1/4" × 3" × 6"	9.60	9.20		
19	10.60	10.80	15 × 150 × 150	10.10	9.50	3/8 × 6 × 12	12.10	13.00		
38	10.20	10.00	不等邊山形鋼			0.28 × 4 × 8	9.50	9.30		
1/4' × 1 1/2"	平		3/8" × 2" × 3"	9.40	"	0.35 × 5 × 12	12.20	12.50		
	9.60	9.40	3/8 × 3 × 4	9.70	10.20	0.36" × 5" × 10"	12.00	13.00		

鋼板	東京	大阪	9'0 × 5 × 10	東京 11:00	大阪 10:90	英	170	22:50	22:00
1.6 ^m /m × 3' × 6'	13:50	13:30	薄鋼板(13枚)			八幡	170	12:10	11:00
16 × 4 × 8	11:70	11:50	米	68	70	八幡	100	22:70	22:30
3.2 × 4 × 8	12:10	12:00	英	67	67.5	線		12:10	12:10
3.2 × 5 × 10	"	12:20	八幡	"	"	材			
6.0 × 4 × 8	15:00	14:80	鐵力板			No.	5#	98	93
6.0 × 5 × 10	14:05	14:50	米	170 ^{lbs}	23:20				
9.0 × 4 × 8	11:20	11:30		100	12:70				

備考 單位 100 疋につき (置場渡值段)、但し薄板は1枚當り。線材は1疋當り。鐵力板は1箱當り。

昭和4年7月當所製品揚地別發送高表 單位 噸

品名	揚地別	阪神地方	京濱地方	當所渡	伊勢灣東海地方	山陰北陸地方	内海沿岸四國地方	奥羽地方	關門九州地方	北海道樺太地方	滿鮮關東州地方	支那	臺灣	其他	合計
鋼材	官廳向	1,726	6,811	87	1	225	1,009	76	3,314	631	4,709	—	949	—	19,538
	民間向	19,995	14,382	5,353	2,162	—	—	269	514	828	124	56	—	—	43,683
	計	21,721	21,193	5,440	2,163	225	1,009	345	3,828	1,459	4,833	56	949	—	63,221
鋼片及鋼塊	459	388	2,750	33	—	857	—	3,520	—	—	—	—	—	—	8,007
副製品	10	1,025	14,172	162	—	452	—	4,136	—	10	—	—	—	—	19,967
合計		22,190	22,606	22,362	2,358	225	2,318	345	11,484	1,459	4,843	56	994	—	91,195

昭和4年10月渡先物契約數量表 單位 噸

寸法	噸數	本年累計	寸法	噸數	本年累計	寸法	噸數	本年累計	寸法	噸數	本年累計	寸法	噸數	本年累計
丸鋼			平鋼			等邊山形鋼			不等邊山形鋼			溝形鋼		
38	94	744	3/4"	20	1,033	m/m	40	302 2,398	2 1/2" × 2"	134	134	3 1/2" × 2"	—	471
44	57	385	7/8	20	837	45	85	516	3 × 2	80	815	3 1/2" × 3	127	1,378
50	29	551	1	45	2,892	50	142	816	3 × 2 1/2	40	967	4 × 3	25	1,763
55	—	20	1 1/4	82	3,057	50	142	816	3 1/2 × 2 1/2	—	369	5 × 3	424	2,864
65	48	652	1 1/2	220	2,293	65	50	815	3 1/2 × 3	127	1,378	5 × 3 1/2	265	3,778
75	100	692	1 3/4	35	1,313	75	70	1,143	3 × 2 1/2	40	967	5 × 4	221	221
90	110	593	2	324	3,208	90	20	265	6 × 3 1/2	251	1,304	6 × 3 1/2	251	1,304
100	82	159	2 1/4	183	183	100	—	317	6 × 4	50	2,853	6 × 4	50	2,853
55	85	1,155	2 1/2	403	2,237	130	185	3,042	3 1/2 × 2 1/2	—	369	6 × 4	50	2,853
60	189	349	3	283	2,536	150	425	4,681	3 1/2 × 3	127	1,378	6 × 4	50	2,853
65	69	1,633	3 1/2	145	1,129	200	270	370	4 × 3	25	1,763	6 × 4	50	2,853
70	208	208	4	150	724	200	270	370	5 × 3	424	2,864	6 × 4	50	2,853
75	71	1,412	4 1/2	220	2,293	200	270	370	5 × 3 1/2	265	3,778	6 × 4	50	2,853
80	177	177	5	290	290	200	270	370	5 × 4	221	221	6 × 4	50	2,853
90	153	563	5 1/2	324	3,208	200	270	370	6 × 3 1/2	251	1,304	6 × 4	50	2,853
95	79	79	6	324	3,208	200	270	370	6 × 4	50	2,853	6 × 4	50	2,853
100	125	143	6 1/2	183	183	200	270	370	6 × 4	50	2,853	6 × 4	50	2,853
合計	2,079	31,817	7	324	3,208	200	270	370	6 × 4	50	2,853	6 × 4	50	2,853
角鋼			棒鋼合計			溝形鋼			工形鋼			鋼板		
m/m	12	10	606	5.307		3 1/2" × 2" — 471			4" × 3" 98 508			m/m 1.6 4.29 4.437		
14	10	10	本年累計 61,301		5 × 2 1/2 156 1,654			5 × 3 98 198			2.3 236 1,833			
15	—	653						6 × 3 20 323			3.2 4.11 5,025			
16	30	155						6 × 5 92 197			4.5 334 1,910			
19	36	310						7 × 4 121 121			6.0 4.87 3,071			
22	77	152						8 × 5 — 140			8 55 237			
25	61	484						8 × 6 — 89			9 58 687			
28	102	192						10 × 5 — 110			12 — 115			
32	97	531						10 × 6 — 160			合計 2,010 17,315			
合計			本年累計 61,301			合計 1,662 16,446			合計 2,227 12,384			鋼板合計 2,010		
												本年累計 17,315		
												總合計 14,090		
												本年累計 128,495		

昭和4年6月中民間棒鋼生産高表 (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
丸鋼		7/8	3,523	2 1/8	8	角鋼		1 1/8	5	1 1/4	91
5/16"	310	1	4,772	2 1/4	145	3/8"	17	1 1/4	39	1 1/2	3
3/8	1,140	1 1/8	730	2 3/8	7	1/2	13	1 1/8	7	1 3/4	17
1/2	11	1 1/4	546	2 1/2	232	9/16	4	1 3/8	8	2	130
9/16	2,654	1 3/8	27	2 5/8	3	5/8	574	1 1/2	22	2 1/8 - 2 1/2	97
5/8	3	1 1/2	163	3	40	1 1/16	3	2 1/2	49	2 5/8 - 3	251
11/16	4,414	1 5/8	245	其他	668	1/4	7	其他	7	3 1/8 - 3 1/2	131
3/4	10	1 3/4	285	淺野小倉	1,261	3/8	4	計	10	3 3/8 - 4	42
13/16	4,946	1 7/8	55	1/4" - 1/2"		7/8	2	平鋼	816	4 1/4 - 5	96
計	7	2	989	計	26,894	1	45	1"	87	5 超	90
										其他	10
										計	1,045
										總計	28,755

販賣旬報 第104號 昭和4年9月2日 第14便 鈴木參事 海外便り

アームコの薄板工場を見る 7月下旬、アシユランドにアームコの薄板工場を訪ふ。時は盛夏、苦熱灼くが如く、ケンタッキーの野は草木萎えオハイオの流れ死したるが如し。こゝに世界に唯一無比を誇る工場がある。事實、現代に於ける鐵鋼界の最も進歩した機械と設備とを有つ點に於て名實共に世界無比である。現代文化の精華の一つであり鐵鋼界が有つ最新式の施設であらう。こゝに平爐に附隨せしめられたる數連の連續式ロールがある。其の一連の一端に銜えしめられたる鋸用鋼塊は順次に薄められつゝ並び立つロールの溝を流れて行く。その有様は線材や小形鋼の場合と同様である。而して其の流れの手はもう奇麗に整えられた5厘48版程度の薄板である。

これに續いて極薄板の連續ロールがある。このロールから見れば、先の5厘48版程度のものは、この極薄板ロールにかゝるべきシートバーだつたのである。このシートバーがこのロールにかゝつたと見ると、他の一端にはもう10枚物程度の極薄物が流るゝ如く出て居る。一方には同じく連續式の燒鈍爐がある。一方から挿入された板が5分もせぬうちに他方の口から立派に燒鈍されて流れ出て来る。更に之に附隨して大規模な鍍金工場がある。技術眼なき余輩等をして見せしむべくは餘りに勿體ない。見誤りはあらうとも、其の眞價に對する判斷力がないからである。

試みに、最初の鋼塊から第一、第二の二連のロールを通つて十枚物となるまでの経過を製品の流れと一所に歩かうとすれば、とてもゆつくりした觀察は許されぬ程である。十枚物の出口に立つて流れ来る枚數を數えて見ると1分間に40枚のレコードを示して居た。職工數僅かに2,500人。而して薄板年額40萬噸也。

此の工場の經營方法から吾等の學び得べき點は一再にして止まらない。然しこゝには就中重要と思はるゝ若干の點に於て摘記するに止めよう。第一は此の工場が現在この精銳なる機械設備を純鐵板以外の製造には用ゐないと言ふ方針に關してである。此の機械設備は普通のスチール鋼板製造に使用することは、この工場目前の能率とは利益とかいへば甚だ望ましいことであるに相違ない。しかも此の工場の經營者は、現在の薄鋼板は値段は安くとも結局に需要者の損である。半永久性ある純鋼板の使用を、世界の需要者に強ゆることは、需要者に對する本當の親切を景品とする自己の製品の廣告だと考へて居るのである。特許權を以て保護せらるゝ自己の精銳なる武器を以て、目前の小利を追はんとせず、需要界の本當の利益の爲めに、稍もすれば目前の利益の爲めに動き安い需要者を叱咤しつゝ之を善導して行かうと言ふ。その心掛けの壯にして人道的なること、まさに全人類の名に於て賞讃すべきではなからうか。

第二に此特許權は同じ米國のニューエス等にも轉賣せられて、同様の設備が全米の薄板製造界を風靡するのも餘り遠い將來ではあるまいとのことである。斯から精銳なる機械設備が、惜しいを知らぬ金力の下に置かれた場合こそ、世界の薄板製造界に大改革の起る時でなければならぬ。精銳なる武器と豊穡なる資源。之を守るに完全なる特許權を以てし之を動かすに絶大なる金力を以てする。望見して戰慄するもの、豈われらのみならんやである。(八月一日経営にて)

米國の輸出市場と日本 米國輸出市場の重要性 全合衆國の鐵鋼産額は年額5,000萬噸なるに對して輸出額は100萬噸見當に過ぎぬのであるから、此の數字から見れば、米國鐵鋼界に於ける海外輸出なるものは、彼等の存立乃至伸長と言ふ立場から見て必ずしも緊切なる重要性ありとは言はれぬ様に見える。此の點は少くとも歐州大陸の鐵鋼業が、其の殆ど全部を輸出市場に立脚せしめて居るとは趣を異にして居る。然るにも拘はらず、米國鐵鋼界が輸出方面に少からざる力瘤を入れ、或は輸出の爲めにする國內統制機關を設置し、或は輸出の爲めにする特價を作つて國內向利

益の一部を犠牲にして省みないのは如何なる理由に基くのであらうか。此の問題に對する解答として普通に提示せらるゝものに二つある。其の一は彼等の工業的領土に對する野望である、産業的帝國主義の發露である。而して第二は國內市場に對する廣告である。其の製品が輸出せられて世界各地に歡迎せられつゝあることを示すのは同じ製品を國內に捌く上に於て何よりの廣告なのである。

領土的野望と國內市場への廣告 日本が尊王攘夷の國論に熱中して居る間に、歐米人の爲し遂げたことは世界未開國の爭奪と其の分割であつた。日本が外註防壓と言ふ消極的努力に苦闘して居る間に、彼等の逐行し終つたことは世界販路の爭奪に次いで其の分割であつた。領土的野望と言ふ辭を政治的に封ぜんとする彼等の努力の裏面には、工業的販路の伸長に關する絶大なる帝國主義の野望を遂行しつゝあつたのである。世界分割の爭奪に一步立遅れた日本は、自國の存立上欠くべからざる滿鮮を得る爲めにさへ、日清、日露の兩役に數 10 萬の生靈を犠牲にせればならなかつた如く、世界販路の爭奪分割に一步を輸した吾等は、自國の工業獨立の爲めに必要なる支那滿州の商權を自分の手に收むる爲めには、日清日露の兩役の以上經濟的犠牲を覺悟せればならぬではないか。米國が東洋市場就中支那市場を自己の工業的領土たらしめんとする要望は寧ろ傳統的に強烈なるものがある。斯かる要望の前には、凡ゆる外敵と競争し如何なる犠牲をも辭せぬの覺悟があると見ればならぬ。世界一と言ふ辭は米國人の最も好む處の一である。世界の何よりも優れて居ると言ふことが彼等の誇りであり而して又努力の目標である。斯かる需要者の前には、最も多く輸出せられ世界の何處よりも歡迎さるゝ商品たることが必要である。輸出品として世界市場を征服せしむとしつゝある商品たることが、國內的需要を喚ぶ爲めの金看板なのである。

輸出界の鳥瞰圖 以上の如き意見に於て、全生産額の 2/100 にも過ぎぬ輸出なるものが、米國の鐵鋼界にとつて少からざる重要性を有つのである。1928 年の統計はまだ完結したものを入手し得なかつたが故に試みに 1927 年の分を借りて米國輸出界の鳥瞰圖を作つて見る。

	線材類	黒薄板類	鋳力板類	重軌條類	輕軌條類	棒鋼類	型鋼類
全輸出額	16,126	152,623	253,888	169,562	8,031	111,126	148,176
内日本向輸出額	9,017	61,850	54,684	29,409	24	1,699	4,584
%	56	41	22	17	0	2	3

此の鳥瞰圖は吾等に何事を教ゆるであらうか。輕軌條及棒型鋼は主として歐洲大陸との關係であるから問題外とし、線材、黑板、鋳力及重軌條の四品目に就て見るならば、米國輸出界の中心を爲すものは日本市場であり、日本市場は彼等の工業的領土野望の中心目標になつて居ると言ふことである。試みに各品種別に之を點檢して見ると次の通りである。

線材類 同年の向先別輸出高は次の通り。

日本	9,017	カナダ	6,132	英國	525	其他合計	452
----	-------	-----	-------	----	-----	------	-----

此の數字は大陸の線材組合が活動して以來、必ずしも現状に即して居るとは言ひ得ない。然し、米國輸出界から見た日本市場の重要性を物語るべく極めて有力な材料と言はればならぬ。米國の線材輸出組合が大陸の輸出組合と如何なる關係があるか、目下の處明ではないが、早晚何等かの話し合ひが行はれ得べき事情の下に在る事丈は明であらう

黑板類 同じ形式に於て黒薄板類の國別輸出高を見る。

カナダ	62,250	日本	61,850	智利	5,910	其他合計	22,613
-----	--------	----	--------	----	-------	------	--------

1926 年には日本はカナダを抜くこと甚だ遠い。此の數字は、日本に於ける薄板工場の發達と共に漸減し來るべき運命にはあるが、英國又は獨逸の場合に別報したと同じ覺悟は必要であらう。米國並に英國の輸出組合及獨逸聯合會のエムデン式活動は今後共注目値する。

鋳力板類 米國の輸出組合と英國の輸出組合との關係に就ては既に詳報した通りである。其の人も無げなる暴君的商風と對比して米國輸出界の日本市場に有する重要性を見るならば思ひ半ばに過ぎるであらう。

日本	54,684	カナダ	41,918	アルゼンチン	33,415	支那	20,066	其他合計	103,805
----	--------	-----	--------	--------	--------	----	--------	------	---------

重軌條類 重軌條の國別輸出高は次の通り。

日本	29,409	ブラジル	22,602	カナダ	21,564	支那	20,053	キューバ	17,351	其他	58,783
----	--------	------	--------	-----	--------	----	--------	------	--------	----	--------

八幡の重軌條輸入防壓策が彼等の産業的帝國主義に對する反逆として彼等の神經を刺戟したのは故ある哉である。吾等が日本内地を守らうとするに對してさへ此の通りである。吾等が支那滿洲に進出せむとする時、それが自國工業獨立のためにする自衛的要求であるとしても、日露戰役位の犠牲は覺悟せればなるまい。(8月6日 桑港にて)

11月渡先物賣出概況—鋼板申込激増 1. 先物賣出と引受。

2ヶ月間休止して居る定期も11月渡より愈々復活することになった。先づ賣出噸數に就て見ると條鋼は前月と大同小異、只第四型鋼が寸法の増加によつて500噸を増加したのが目立つ位なものである。鋼板は引渡整理の意味も含んで300噸を減じ、鉄力は市場の切なる要求に順應して200噸を増した。黒板及線材も若干の増減はあつた。之に對する引受噸數は條鋼は賣出噸數には稍不足したが前月の引受よりは1,000噸近い増加である。鋼板以下全部賣出噸數だけ引受けることになった。

2. 申込數量。

試に4月積以降の條鋼先物申込總數量の變遷を列記して見ると下表の通りである。

4月積	5月積	6月積	7月積	8月積	9月積	10月積	11月積
19,829	12,367	15,719	19,241	11,899	11,987	8,262	7,961

11月積先物賣行概況

工場名	線材	一、二小	三小形	一中形	二中形	四型鋼	一大形	二、三形	軌條	計	申込噸數	内譯					
												東京	大阪	名古屋	其他		
引受先物賣出噸數	300	1,500	2,000	400	400	1,000	500	1,700		7,800							
條鋼	先物	丸鋼	176		395		199				770	765	319	230	186		
		角鋼		121		57	157				335	355	175	145	5	30	
		平等山		606		416					1,022	1,258	312	576	15	355	
		不等山		178	255		96	198		1,122	1,849	1,744	654	1,041	7	46	
		溝工形				111	55	140	470	200	976	1,137	265	865		7	
		先物計	176	905	650	619	668	338	1,404	2,385	7,145	7,961	2,706	4,555	32	658	
		部	定期	丸鋼	502		3,467		720				4,689				
角鋼				371		130	290				791						
平等山				1,048		709					1,757						
不等山				380	868		495			925	2,668						
溝工形						71	65	20	369	96	621						
先物計	502			1,799	4,335	1,000	1,816	20	1,684	2,196	13,352						
定期計	502			1,799	4,335	1,000	1,816	20	1,684	2,196	13,352						

鋼板ノ部								鉄力板ノ部			黒板ノ部		線材ノ部			
區別	工場名	先物賣出噸數	申込噸數	内譯				引受噸數	品種	市場向	實需向	賣出噸數	1,200	品種	線材	製釘材
				東京	大阪	名古屋	其他									
先物	厚板	550	11,651	4,726	3,657	2,582	686	550	賣出噸數	900	600	1,382	1,200	賣出噸數	1,100	3,000
	一中板	250	10,511	4,856	3,623	1,391	641	250								
	二中板	300	16,857	6,439	6,095	3,296	1,027	300								
	先物計	1,100	39,019	16,021	13,375	7,269	2,354	1,100								
定期	厚板	(5,770)							引受噸數	344	200	1,200	引受噸數	1,490	3,000	
	一中板	450														
	二中板	(920)														
	定期計	(6,690)														
		2,279							計	900	600					

備考 1. 條鋼には二種定期を含まず 2. 鋼板の部中括弧内は耳付板定期

市場の興亡一目瞭然たるものがある、猶最高潮であつた昭和3年12月渡の38,916噸に比すれば轉た感慨無量であ

る。名古屋の 32 腕に至つては極端と云ふ事が出来よう。

翻つて鋼板先物申込總數量の 4 月積以後を見ると下表の通りである。

4 月積	5 月積	6 月積	7 月積	8 月積	9 月積	10 月積	11 月積
9,515	14,811	15,524	20,018	15,796	13,037	11,078	39,019

之は本年に入りてより鋼板が如何に業界の寵兒となつたかを物語るもので他に一言も挟む餘地がない。特に今月は一躍 4 萬腕に垂んとする驚異的數量に到達した。之は一面市場の鋼板に對する目先觀とも見ることが出来るが、外注と云ふ暴君が將して此先行強調觀を其儘に許容する程寛大であらうか。

當所及 2 社 中型等邊山形鋼 7 月生産高 生産調節申合せによる當所及日本鋼管、東海鋼業の 7 月に於ける中型等邊山形鋼の生産高は次の通りにして基準數量に比し約 3,000 腕の減産となつた。

50 m/m	65 m/m	75 m/m	90 m/m	100 m/m	計
2,742	812	2,054	829	1,187	7,629

製品の米突化通報 今回米突化完成の結果 12、1 月渡しより注文引受を開始するもの下の通り

不 等 邊 山 形 鋼					
6 × 75 × 65	8 × 75 × 65	10 × 75 × 65	7 × 125 × 90	10 × 125 × 90	13 × 125 × 90
第一種寸法	中間寸法	第一種寸法	中間寸法	第一種寸法	〃
一中形工場	〃	〃	四型鋼工場	〃	〃

以上右の外當分の間第一種寸法とし何れも厚さ 9m/m をも製作す、同時に引受廢止すべきもの下の通り。

不等邊山形鋼 1/4" × 3" × 2 1/2", 3/8" × 3" × 2 1/2", 1/2" × 3" × 2 1/2", 3/8" × 5" × 3 1/2", 1/4" × 5" × 3 1/2"

8 月下旬 線材、薄板、鋸力板、輸入速報

港別/品名	線				薄板		鋸力板	
	B.W.G. No. 5	其他	計	8 月計	0.7 耗以下	8 月計	8 月計	
神 戸	1,778	262	2,040	7,998	285	1,442	629	2,237
大 阪	418	99	517	1,517	649	1,680	—	80
横 濱	1,473	127	1,600	3,043	201	1,771	1,804	2,317
計	3,669	488	4,157	12,558	1,135	4,893	2,433	4,634

備考 神戸、大阪、自 8 月 18 日至 8 月 27 日、横濱自 17 日至 27 日

東西市況一鈍調 來勤に入つても目立つ程の荷動きも見られず、例の弱氣材料を並べ立てて人氣至つて引き立たず不相變減入つて居る模様である買氣の無いのは感じばかりでなく、實際上からも相當減退して居る様で其原因は現在の不安定なる市場の空氣にあるは勿論であるが、其他市中間屋筋としては先行の不安から換金の策に出る者が多いのと、地方筋も米價安などの爲需要減を見越して當座買で間に合せることも大部崇つて居ると見られて居る。

市中在庫は此際は品物よりは彈力のある金に換える爲追々と手薄になつた模様であるが、現在の氣分が轉換せない間は手持薄のみが原因で好轉は望めまいと云はれて居る。

東 京 市 況

丸鋼。 地場としては採算上及在庫漸減から此邊に踏み止まりたい氣勢は見せるが大目見積りの度に買ひ敲かれて一歩一歩深みへ落ち込み行くので今の處何の邊で落ち付くか見當は付かないと云ふものゝ、そうそう深押しも許されまいから底入れもあまり遠い將來ではあるまいと見て居る筋が多い様である。太丸は 60, 70 を除いては稍軟調と云はれて居る。

角、平鋼。 角は伸鐵物に押されて小甘く、平の不勢は變らざるも需給關係から大體 50 錢止まり位で喰ひとめてはあるまいかと云はれても居る。

型鋼。 中型等山は東京は未だ反撥するまでには到らず、只小型物が近來續騰して去年の歴史を繰り返す模様がある様に云はれて居る。大型等山は戻り、不等山は品一巡て小緩み、溝は一般には花形たる位置を失はず 312 × 6 × 30 3/8 × 2 1/2 × 6 は西筋へ買拾はれて硬化し、工は未だ相當高値は呼んで居るが氣配としては聊か引き緩みと見られて居る

鋼板。 1.6 × 4 × 8 の入荷途絶えて反撥し、4.5 は峠を越えて軟調に移り 6.0 は期待に背かず續騰と波瀾を繰り返して居る。

昭和4年7月棒鋼寸法別揚地別引渡高表 單位噸

區分 寸法	丸鋼								合計	區分 寸法	丸鋼								合計
	民間向普通鋼				官廳向及規格品並特殊鋼						民間向普通鋼				官廳向及規格品並特殊鋼				
	阪揚	神揚	京濱	其他	計	阪揚	神揚	京濱			其他	計	阪揚	神揚	京濱	其他	計		
6m/m	2	163	46	211	—	—	2	2	213	125	1	—	—	1	—	—	4	4	5
6.5	—	—	—	—	—	—	5	5	5	丸鋼計 4,215 2,883 840 7,938 206 92 1,101 1,399 9,337									
7.5	—	—	—	—	—	—	1	1	1	角鋼									
8	130	80	80	290	—	—	3	3	293	12m/m	45	78	22	145	—	—	1	1	146
9	1,427	2,237	355	4,019	—	—	40	40	4,059	14	42	—	42	—	—	—	—	—	42
9.5	—	—	—	—	—	—	9	9	9	15	5	43	7	55	—	—	—	—	55
10	—	—	—	—	—	—	3	3	3	16	14	—	—	14	—	—	—	—	14
10.5	—	—	—	—	—	—	1	1	1	19	—	5	—	5	—	—	3	3	8
11	—	30	10	40	—	—	—	—	40	22	3	—	—	3	—	—	—	—	3
12	1,125	112	240	1,477	—	—	117	117	1,594	25	40	—	40	—	—	—	—	—	40
13	—	—	—	—	—	—	12	13	13	28	30	10	—	40	—	—	—	—	40
14	—	—	—	—	—	—	1	3	4	32	70	—	—	70	—	—	—	—	70
15	—	—	—	—	—	—	2	131	133	38	69	—	—	69	—	—	4	4	73
16	—	—	—	—	—	—	1	22	23	40	—	—	—	—	—	—	1	1	1
17	—	—	—	—	—	—	—	1	1	44	13	13	1	27	—	—	11	11	38
18	—	—	—	—	—	—	6	133	139	50	19	—	—	19	—	15	1	16	35
19	—	—	—	—	—	—	—	146	146	60	2	—	—	2	—	—	—	—	2
20	—	—	—	—	—	—	1	21	22	65	8	—	—	8	—	—	7	7	15
21	—	—	—	—	—	—	21	52	83	70	2	—	—	2	—	—	3	3	5
22	—	—	—	—	—	—	20	4	4	75	38	25	5	68	—	—	9	9	77
23	—	—	—	—	—	—	—	5	30	90	—	—	—	—	—	—	1	1	1
24	—	—	—	—	—	—	2	94	96	100	176	10	—	186	29	3	38	70	256
25	—	—	—	—	—	—	—	28	28	115	—	—	—	—	—	—	4	4	4
26	—	—	—	—	—	—	—	7	7	120	10	—	—	10	—	—	—	—	10
27	—	—	—	—	—	—	—	8	8	130	1	2	—	3	—	—	—	—	3
28	—	—	—	—	—	—	—	8	8	150	4	8	—	12	—	—	6	6	18
29	—	—	—	—	—	—	2	—	2	角鋼計 591 194 35 820 29 18 89 136 956									
30	—	—	—	—	—	—	1	8	9	平鋼									
31	—	—	—	—	—	—	1	—	1	3/4"	95	80	7	182	—	—	2	2	184
32	—	—	—	—	—	—	—	22	22	7/8	58	90	12	160	—	—	—	—	160
34	—	—	—	—	—	—	1	—	1	1	519	137	18	674	—	—	3	3	677
36	—	—	—	—	—	—	4	9	13	1 1/4	512	443	137	1,092	—	—	3	3	1,095
38	—	—	—	—	—	—	34	56	90	1 1/2	40	61	25	126	—	—	14	14	140
40	—	—	—	—	—	—	14	4	18	1 3/4	310	194	75	579	—	—	13	13	592
42	—	—	—	—	—	—	4	—	4	2	204	102	2	308	—	—	63	63	371
44	—	—	—	—	—	—	11	11	11	2 1/4	38	—	—	38	—	—	11	11	49
45	—	—	—	—	—	—	1	1	1	2 3/8	—	—	—	—	—	—	1	1	1
46	—	—	—	—	—	—	4	1	5	2 1/2	175	50	45	270	—	—	10	10	280
48	—	—	—	—	—	—	1	4	5	3	200	72	42	314	—	—	5	5	319
50	373	72	10	455	—	—	8	8	463	3 1/2	85	27	—	112	—	—	4	4	116
54	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3 5/8	76	14	—	90	—	—	—	—	90
55	41	40	15	96	3	—	5	8	104	4	218	59	51	328	—	—	1	6	334
60	29	—	—	29	—	—	4	4	33	平鋼計 2,530 1,329 414 4,273 — — 135 135 4,408									
65	370	17	11	398	31	—	23	54	452	總計 1,336 4,406 1,289 13,031 235 110 1,325 1,670 14,701									
70	102	40	18	160	—	—	1	1	161										
75	343	28	35	406	5	—	3	8	414										
80	168	50	5	223	—	—	1	1	224										
85	12	—	—	12	—	—	—	—	12										
90	13	—	15	28	144	—	5	149	177										
100	66	14	—	80	—	—	36	36	116										
110	9	—	—	9	—	—	—	1	10										
115	1	—	—	1	—	—	—	1	2										
120	3	—	—	3	—	—	17	17	20										

備考 1. 鍛成品を含まず 2. 自家用品は官廳向に含む

昭和4年7月中當所品種寸法別生産高

寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量
鋼丸	473	65	29	型鋼/部	重量	寸法 <td>重量</td> <td>寸法 <td>重量</td> <td>寸法 <td>重量</td> <td>寸法 <td>重量</td> <td>寸法 <td>重量</td> <td>寸法 <td>重量</td> </td></td></td></td></td>	重量	寸法 <td>重量</td> <td>寸法 <td>重量</td> <td>寸法 <td>重量</td> <td>寸法 <td>重量</td> <td>寸法 <td>重量</td> </td></td></td></td>	重量	寸法 <td>重量</td> <td>寸法 <td>重量</td> <td>寸法 <td>重量</td> <td>寸法 <td>重量</td> </td></td></td>	重量	寸法 <td>重量</td> <td>寸法 <td>重量</td> <td>寸法 <td>重量</td> </td></td>	重量	寸法 <td>重量</td> <td>寸法 <td>重量</td> </td>	重量	寸法 <td>重量</td>	重量
6m/m	473	70	11	等邊山形鋼	2" x 2 1/2"	鋼	131	0.7m/m	超鋼板	1	21	5	366	軸	488	車	4
6.5	182	75	182	35m/m	6 x 3 1/2"	31	56	0.8m/m	32	25	30	2	3	ムグ	6	ドリ	4
9	212	100	212	40	7 x 3"	665	665	1	32	30	31	3	8	線	46	鋼	4
9	19	150	19	45	10 x 3 1/2"	977	977	1.2	32	32	32	26	26	鐵	2	座	2
10	973	計	973	50	12 x 3 1/2"	1,114	1,114	1.4	33	33	33	4	4	座	38	ボナ	38
10.5	16	計	16	55	15m/m	340	340	1.5	35	35	35	4	4	座	1	座	1
12	215	平	215	65	100 x 50	1,065	1,065	1.6	35	35	35	11	11	座	43	座	43
12	1,739	計	1,739	75	計	1,918	1,918	1.8	42	42	42	15	15	座	94	座	94
25	235	3 1/4"	419	90	T形鋼	6	6	1.85	45	45	45	15	15	座	2	座	2
26	30	3 1/2"	89	130	4" x 4"	6	6	2	45	45	45	2	2	座	2	座	2
27	24	3 3/4"	643	150	計	6,603	6,603	2.3	45	45	45	2	2	座	2	座	2
28	114	3 1/2"	1,273	計	6,603	6,603	6,603	2.5	45	45	45	2	2	座	2	座	2
30	40	1 1/4"	630	不等邊山形鋼	3" x 2"	677	677	2.6	45	45	45	2	2	座	2	座	2
31	73	1 1/4"	1,173	3" x 2"	3 1/2" x 3	132	132	2.9	45	45	45	2	2	座	2	座	2
32	197	2	73	3 1/2" x 3	4 x 3	348	348	3	45	45	45	2	2	座	2	座	2
34	2	2 1/2"	505	4 x 3	5 x 3	1,185	1,185	3.2	45	45	45	2	2	座	2	座	2
35	17	3	157	5 x 3	5 x 3 1/2"	947	947	3.5	45	45	45	2	2	座	2	座	2
36	78	3 1/2"	118	5 x 3 1/2"	6 x 3 1/2"	298	298	4	45	45	45	2	2	座	2	座	2
50	200	3 3/4"	511	6 x 3 1/2"	7 x 3 1/2"	28	28	4.5	45	45	45	2	2	座	2	座	2
65	680	4	2	7 x 3 1/2"	8 x 3 1/2"	14	14	4.8	45	45	45	2	2	座	2	座	2
98	244	100	4,538	8 x 3 1/2"	9 x 3 1/2"	33	33	5	45	45	45	2	2	座	2	座	2
70	636	計	636	9 x 3 1/2"	計	434	434	5.2	45	45	45	2	2	座	2	座	2
80	283	六角鋼	283	10 x 3 1/2"	型鋼合計	138.7	138.7	5.5	45	45	45	2	2	座	2	座	2
85	33	計	33	125 x 75	條鋼合計	31,013	31,013	6	45	45	45	2	2	座	2	座	2
100	989	4.36	1	計	3,788	3,788	3,788	6.4	45	45	45	2	2	座	2	座	2
130	71	5.96	4	球山形鋼	6"	24	24	7	45	45	45	2	2	座	2	座	2
140	52	7.06	2	7" x 3"	7"	45	45	7.5	45	45	45	2	2	座	2	座	2
150	298	8.16	17	8 x 3 1/2"	8"	15	15	8	45	45	45	2	2	座	2	座	2
180	49	9.16	5	9 x 3 1/2"	9"	34	34	8.5	45	45	45	2	2	座	2	座	2
200	105	1.006	33	計	118	118	118	9	45	45	45	2	2	座	2	座	2
計	11,527	1.096	16	工形鋼	4" x 3"	245	245	9.5	45	45	45	2	2	座	2	座	2
角	105	1.296	13	8 x 6	5"	57	57	10	45	45	45	2	2	座	2	座	2
25	95	1.386	15	10 x 6	6"	87	87	11	45	45	45	2	2	座	2	座	2
30	12	1.476	17	12 x 5	7"	1,139	1,139	12	45	45	45	2	2	座	2	座	2
32	138	計	138	12 x 6	計	2,312	2,312	13	45	45	45	2	2	座	2	座	2
38	61	棒鋼	61	計	950	950	950	14	45	45	45	2	2	座	2	座	2
44	69	計	69	17 x 196	計	17,521	17,521	15	45	45	45	2	2	座	2	座	2
46	37	計	37	計	2,312	2,312	2,312	16	45	45	45	2	2	座	2	座	2
60								17	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								18	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								19	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								20	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								21	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								22	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								23	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								24	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								25	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								26	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								27	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								28	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								29	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								30	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								31	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								32	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								33	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								34	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								35	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								36	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								37	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								38	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								39	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								40	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								41	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								42	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								43	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								44	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								45	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								46	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								47	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								48	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								49	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								50	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								51	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								52	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								53	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								54	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								55	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								56	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								57	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								58	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								59	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								60	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								61	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								62	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								63	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								64	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								65	45	45	45	2	2	座	2	座	2
								66	45	45	45	2	2	座	2	座	2
		</															

販賣旬報 第105號 昭和4年9月11日

ブラッセルの鋼鐵市場 海外便り 第15便 鈴木參事

1) ブラッセル市の中央。ホテルメトロホール前の廣場から北寄りの方。石だみのダラダラ坂を上つて行つて二流筋の小路に這入る。表から見ては一吋見當も付かぬ位の建物。もとはカフェーでもあつたかと思はれるやうな廣間を打抜いて千疊敷位の商内場をしつらへた。これが世界の鐵鋼取引を支配する相場の建つ處。大陸鐵鋼製品の取引市場である。

2) 此の市場は純然たる會員組織である。會員無慮1,000名。大陸に於ける凡ゆる製鋼工場、輸出業者、思惑業者の代表者であれば、會員2名以上の紹介を以て何人でも會員となることが出来る。土地建物の管理、集合取引の爲めにする外形的世話をやく爲めに管理委員會が設けられ、若干の使用人を置くの外、相互の商取引を仲介し又は其の實體に立入るやうな中央機關の設置は無い。

3) 毎週水曜日。午後2時から4時迄が開市時間である。此の千疊敷には商取引の爲にする一つの卓子もなければ椅子もない。壁に近く休憩用の腰掛が若干並べである許り。毎週集るものは、大陸の工場、商社の當務者5-600人、三々伍々打ち群れて、相互の内に相對取引を行ひ、氣配を語り合つてゐる。中央機關は何等商取引に干渉しないが故にそこには、相場、取引高等に關する何等の記録も残らない。純然たるカーブ、マーケットである。

4) 此の市場は輸出市場である。國內向取引は、名國自給自足の方針の下に各國の統一機關に統制されて以來、かゝる國際取引の對象とはならない。この市場は殆ど全部、輸出向商品の取引市場である。従つて賣買の建値は大陸各輸出港の F. O. B. を以てせられる。又輸出商品に對する通則として取引貨幣は殆ど全くスターリングである。

5) 此の市場の取引には工場(工場直屬指定商を含む)と輸出商との間の取引及輸出商相互間を含む。各工場が市場外に於て販賣した工場能力の餘剰の全部が此市場に於て消化せられる。又一輸出商社と他の輸出商社との間に於ても其の相互の手持の有無を整調する。之を客觀すれば、此の市場の開市に依つて、工場能力と商社の手持とに生じた偏重的傾向が、各輸出先の需要に順應して地均しされるのである。

6) 此の市場に於ける取引物中の主なるものは、半製品では銑鐵、鋼片、及シートバー。製品ではバー、アングル、ジョイスト、中板類、薄板類、ワイヤロット類である。主として代替性の多いマーチャブルな商品に限られたる傾向は見逃してならぬ。又、相場の變動次第で、其の時々の花形が違つて來るやうである。國際協定の目的たる軌條、鋼管等は原則として少く、代替性に乏しい厚板類、チャンネル類の如きも市場の取引物中には應はしくないらしい線材類は、國際組合の指定商から市場へ出たあとの輪環取引を主とするらしい。

7) 此の市場の相場が有する威力は極めて甚大である。大陸各工場の能力餘剰と商社の懐工合とが一所に廻つて作る相場である。世界の輸出市場に專制的權力を以て臨む大陸鐵鋼界の統一取引市場であるから、これが世界の相場を牽引して行くのは當然のことである。大陸の諸工場及各商社は週史に開かれる此の市場の氣配を見上てなければ、市場外に取引を爲さぬが例である。従つて一週の前半は大體に於て輸出商談は休みと見て宜いのである。若し夫れ、母國の立場から、大陸の市況乃至氣配を察しやうとするならば一に全く此の市場の情勢を見たいで充分である。(7月1日 巴里にて)

B S 型と N P 型

1) 大陸市場では型鋼と言へば主として工形鋼を指すことにしてゐるやうである。工形鋼に殆ど全く棒鋼並みの取扱を受けてゐるし、溝形鋼は餘り使用されぬか又は使用されても工場から直接需要家に流れて市場を經由しない故か、市場取引の好目標たる待遇は受けて居ないやうに見受けられる。

2) 流行見工形鋼には英國型(B.S. Section)と大陸型の2種類が市場に出て居る。大陸内部の需要界には殆ど英國型は使用せられてゐない。しかも大陸工場が英國型を製作するのは主として輸出向需要が土臺となつてゐるやうである。即英本國又は英國系構造技術者の設計を捨て得ざる海外需要地への輸出を目當としてゐるのである。

3) 従つて大陸製工形鋼は大陸型と英國型とに付き値段の區別が附せられるのが普通である。英國では其の英國型をそう安くは作れない。大陸は之を見込んで英國に負けない程度迄其の賣値を引上げてゐるのに反し、大陸型は大陸内部の使用も多いし、競争も相當に激しいが故に英國型に比し常態として下這いの状態をとるのである。

4) 工形鋼と溝形鋼との値開きは英國では殆どないが、大陸では甚だ多い。大陸では工形鋼は殆ど全く之を半製品の一つと見てゐると、市場取引の好目標として、思惑乃至競争の對象とされるゝが故であらう。

5) 溝形鋼は造船用材料など、同じく思惑の対象とはならず、市場を經由せず直接工場から直接需要者に流れるか又は商人を經由しても、ホンの口銭を以てする取次商内に過ぎないが爲めに、市場には氣配の統一したものが出来難いやうである。

6) 溝形鋼にも BS 型と N. P. 型の二種類が大陸に於て製作せらるゝが、こゝに注意を要するのは、大陸に於ける BS 型溝鋼なるものは、殆ど全く日本向のみに限られて製作されつゝあると言ふことである。従つて大陸製 BS 溝型鋼には市場取引なるものが全然ない。又其の輸出値段の如きも、工場に依り又は時日に依り値段のあらきに定まりなく、少しも統一せる氣配なるものがないと言ふことである。

7) 大陸工場は英國工場に注文をとられさへせれば宜いと言ふ位の心持で居るらしく、値段の如きも NP 溝型鋼より遙に高いのが常態である。加之、最近に於ける八幡の外注防塵策に依つて大陸への注文が激減したが爲め、大陸工場にとつては BS 型の製作工程は益々不利となつて來た。従つて將來は、大陸より BS 型を買ふと言ふことは全然不可能となるか、又そこまで行かなくとも、賣價は上る一方となつて英國品との轉寄せは避け得ぬものとなるであらうか。(7月5日 ロンドンにて)

7月中大陸市況一不況 7月に入るも市況更に改らず、買氣は益々鈍つて、メーカーは新規注文に飢え、最近一年間殆んど市場に姿を現さなかつたワークレーの如きさへも立戻つて市場はメーカー總出の競争場裡と化した感がある殊にルクセンブルクの如き本年上半期の生産高は去年の其を超ゆること、僅かに4萬5,000吨に過ぎぬに拘らず、凡ての製品を提げて市場の手硬き競争者として現れたことは大陸の不況の如何に深刻なるかを物語るものである。斯して相場は一段と軟化し殊に棒鋼に至つては5月初メーカーの必至の努力も報ひられず、遂に6磅を割つてより以來、日を重れ月を改むるに従つて安値又安値とメーカーを脅かしたが、7月に入るや更に其の勢を増して、下旬には5-12-3と遂に生産費の本城に迄詰め寄せられた此が不況の原因は種々考へられるが、要するに

- (1) 季節的影響 (2) 決算期に接近してゐること (3) 23の輸出市場に於ける金融逼迫 (4) 相場的一段の値下りを氣付かつての買溢り

等を擧げ得るが、此以上の下落は生産費の關係上既に許されざるものと考へられるし、又需要の減少も恐らくは一時的現象で、月新なると共に漸次回復に向ふものと信ぜられて居る。

半製品市場—英國への輸出減と一般の不況に災されて6月の5-7-9に比すれば5志方の急落を見せてゐる。

製品市場—工形は依然底がたく、引續く需要の旺盛に寧ろ昂騰氣勢をさへ示したが、下旬漸く半製品の安値と佛蘭西よりの競争を迎えて幾分軟化した、然し前年同期に比すれば實に7志方の高値で鋼板と共に沈滞の市場に咲く一對の紅花たることを失はぬ。

此等を除いては市況頼に沓えず、棒鋼、ロッド等其の最たるもので先年の其より聊か下廻つた相場をさへ示してゐるが、7月下旬を最低として直に反動期に入るべく、取引所の空氣にも既に其の感深きものが見受られる。

ブラッセル取引所平均相場下の如し (アントワープ f. o. b.)

		棒 鋼	工 形	大形山形	鋼板(3/8")	ビレット(2")
3	日	5-16-0	5-4-9	5-8-0	6-7-6	5-6-3
11	日	5-15-3	5-4-9	5-7-9	6-7-6	5-5-9
17	日	5-13-3	5-4-3	5-6-9	6-7-9	5-3-9
25	日	5-12-3	5-4-0	5-5-9	6-7-3	5-2-9

訂正 旬報第百號に掲載せる6月中大陸市況中ブラッセル取引所相場中次の通り訂正す。

棒鋼、工形、大形山形、鋼板、ビレットの順序を

棒鋼、大形山形、鋼板、工形、のビレットの順に訂正す。

8月中主要鋼材三港輸入概観—薄板空前の減少 8月の輸入は大觀して前月と大なる變化も認められず、只丸鋼の輸入の衰へぬのが氣になる位で、軌條、線材鋼管等減少して居るのが眼に付く、特に薄板は遂に4,000吨臺を出現し、記録破りの減少である豫測を許さぬ輸入に就て將來を卜するは甚だ亂暴たるを脱れぬが既に上2/3期を經過した今日であるから特別の事情あるものを除けば種々の判斷の材料に役立つものがあらう。勿論輸入それ自身のみにては大した参考にもなるまいが販賣旬報の一月以降の分を見れば當所の生産も分明し猶鋼材年報を繙けば過去の實蹟も得られるから彼此組合せて見れば其處に何等か歸納し得られるだらう。例へば現在市場の花形として持囃されて居る溝形、工形に就て見ると年報第一表其一、第二の教ふる昭和2、3年の供給數量は次の通りである。

年次/區分	溝 形			工 形		
	當 所	輸 入	計	當 所	輸 入	計
昭和 2年	32,772	26,096	58,868	15,491	36,495	51,986
昭和 3年	32,019	9,447	41,466	27,332	14,369	41,701

昭和 4 年 7 月迄の當所生産高を旬報に據つて集めると溝形は 18,546 吨、工形は 13,712 吨であるが是と 8 月迄の輸入數量を對比すれば本年に於ける今迄の供給數量は溝形、工形共大體前年と變りなく工形

は寧ろ前年に比し増加の傾向にある、然るに昨年は兩者共一向惠まれず遂には建築界の趨勢が此兩者の使用を忌みて他鋼材によつて代用せらるゝならんとまで云はるゝに到つたが、本年は同數量の供給がありながら現在の如き活況を呈するは海外事情もさる事ながら要するに昭和 3 年が其前年度たる昭和 2 年に於ける供給過剩の消化に終始した事を前表によつて發見し得るであらう。又 1 月以降の鋼板 (0.7 耗超) の輸入の大勢を見るに下表の通り。

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
3,245	3,767	3,064	2,866	3,830	2,024	4,247	4,957

即ち 6 月を底として急劇なる増加を見たが、之れは 4 月に於ける昂騰が市場を刺戟して 7 月の輸入となつて現はれたと見ることも出來よう。此表と 4 月以降の地場の好調と對稱して將來の輸入に就ては何を教へられるだらうか。斯ふ云ふ意味から此輸入數量に就て丸鋼、薄板、線材等を觀察すれば誠に興味津津たるものがある。

昭和 4 年 8 月中 3 港 輸入 鋼材 數量表 單位 吨

品 種	區 分	神 戸	大 阪	横 濱	8 月 計	前 月 計	本年 累計	昭和 3 年 1 ヶ月 平均
丸	鋼	775	1,603	2,044	4,422	2,650	55,740	3,184
角	鋼	177	153	183	513	572	4,533	423
平	鋼	652	194	537	1,383	1,774	11,741	1,281
等	山	529	73	487	1,089	1,018	14,099	1,380
不	等 山	84	160	45	289	226	2,763	226
溝	形	239	467	512	1,218	1,165	6,786	695
工	形	410	426	292	1,128	659	13,950	1,055
鋼板(0.7m/m超)		1,056	694	3,207	4,957	4,247	28,000	3,466
〃(0.7m/m以下)		1,633	1,820	851	4,304	5,314	55,112	16,780
鍼	力	1,949	80	2,539	4,568	5,122	41,572	5,297
軌	條	454	664	72	1,190	3,442	21,605	3,611
線	材	7,187	1,517	2,707	11,411	13,333	107,380	12,703
シ ー ト	パ イ ル	229	604	361	1,194	1,721	17,021	1,743
鋼	管	1,501	1,479	2,398	5,378	6,893	39,430	4,409
其	他	921	463	1,912	3,296	2,322	23,021	2,150
計		17,790	10,397	18,147	46,340	50,458	442,753	58,403

モーターベンゾール好轉 軟弱續きて惱み切つてゐた揮發油界も前月から漸く立直つて此度は相當永續性を想はせてゐる。

最近多少沈滞商狀にあつたベンゾール市況も、季節的影響と揮發油の強含みによつて昨今は豫期した様に餘程好轉して來たが尙一奮張を要する邊に在るので、結局大口需要者の希望を容れて、當所モーターベンゾール價格は今期 9 月 10 月渡まで据置きのことに決定した。100%ベンゾール以下も以上に準じて夫々据置にした。

記

- 1、モーターベンゾール 70 吨以上契約の場合 金 175 圓替 35 吨以上契約の場合 金 185 圓替
35 吨未満契約の場合 金 195 圓替
- 2、100%ベンゾール 金 230 圓替
- 3、ソルベントナフサ 30 吨以上契約の場合 金 165 圓替 30 吨未満契約の場合 金 170 圓替
- 4、テレメン油 金 170 圓替

備考。以上は全部八幡工場構内渡容器付 1 佛吨單價とす。

9 耗及 12 耗丸鋼定尺追加の件 丸鋼 9 耗及 12 耗の定尺に就て市場の要望に鑑み従前の 12 呎、15 呎及 18 呎の 3 種の定尺の外新に「18 呎或は 20 呎」なる定尺を認め 9 月 5 日より施行のことに決定した。

猶「18 呎或は 20 呎」とは製作工場の都合により其割合如何に就ては全然本所の選擇により 18 呎のみにて 20

呎のみにても又は兩者混合にても差支なきものとす。

但し工場製作經濟上差支なき範圍に於て 20 呎を多く混合せしむ。

製品の米突化通報 米突ロール完成の結果今後製作の分より實施すべき米突寸法及同時に廢止すべき舊寸法下の通り。

一、米突寸法にて引受開始のもの

溝形鋼	$9 \times 300 \times 90$	第一種寸法	第三大形	溝形鋼	$10 \times 300 \times 90$	第二種寸法	第三大形
"	$10.5 \times 380 \times 100$	中間寸法	"	"	$13 \times 380 \times 100$	第二種寸法	"
工形鋼	$9 \times 200 \times 150$	第二種寸法	第二大形				

一、引受廢止のもの

溝形鋼	$\frac{3}{8}'' \times 12'' \times 3\frac{1}{2}''$	"	$\frac{1}{2}'' \times 12'' \times 3\frac{1}{2}''$	"	$.525'' \times 15'' \times 4''$
工形鋼	$.440'' \times 8'' \times 6''$				

8 月上旬 線材、薄板、鋸力板、輸入速報

港別\品名	線 材			薄 板 0.7 耗以下	鋸 力 板
	B. W. G. No.5	其 他	計		
神 戸	1,691	490	2,181	2,006	1,917
大 阪	1,206	—	1,206	1,385	63
横 濱	850	109	965	653	541
計	3,753	599	4,352	4,044	2,521

備考、神戸、大阪、自 8 月 28 日至 9 月 7 日、横濱自 8 月 23 日至 9 月 6 日

東西市況 — 不變 秋に一步を入れてどうやら少しは荷動きを感ぜられる様にはなつたが、未だ市況に響く迄には至らず、不相變安値物が市場を彷徨して居るので氣勢揚がらず前旬同様氣迷ひ状態にあると云はれて居る。只東京では黑板が品薄の爲今旬に入つて急騰したのが白眉であつたが此處數日の雨で出鼻を折られた模様である。

東 京 市 況

丸鋼 虐め抜かれたベースは一時臺割れの悲運に沈淪したが、手持薄と需要期を楯に、辛うじて 90 圓を保つて居ると云はれて居るが大口となれば勿論これより下廻つて居る模様である。然し大體此邊が底と見て居る筋もある、只近日海外の安い入電もあつて氣を悪くして居る。

角、平鋼 角は品薄物として 25^m/m 13 圓 6、80 錢、29^m/m 12 圓と高値を吹いて居るが、其他不變、平は軟調未だ止まず、然し大凡底も近いと云はれて居る。

型钢 中型等山は東京としてはメーカーを手近かに控へて伸力なく寧ろ 10 錢方の下押しを見た、大型は等邊の 130^m/m 及 150^m/m 駢り不等邊は盆槍と見られて居る、溝形的好調不衰、2×4 復々昂騰氣勢である工形も目星しい變化もなく只 5×10 が益々上伸して居るのが目に付く。

鋼板 今旬に入つて値下りを見たものは皆無と云ふ強調を持続して居る、6・0×4×8、5×10 など其内の尤たるものである、4・5 や 2・3×5×10 など相當高値を呼んでゐる。

大 阪 市 況

丸鋼 漸く下げ濫りとなりベースは 90 圓を保つて居る。然し先行に對し強氣の材料は何等見當らず弾力性に乏しい。

角、平鋼 久しく市場に現はれなかつた角鋼 90^m/m、65^m/m は當所品の出廻りに實需家に一安心を與へてゐるらしい、然し未だ燒石に水の觀がある、平は保合、流石に 90 圓臺割れにもならず、最低もの 9 圓 20 錢、著數拂底品もない。

型钢 等山中型ものは需給の平衡を得て 9 圓 3、50 錢と順調に推移し大型もの及不等邊共に波亂なく、堅調、溝 50^m/m×100^m/m は復又拂底にて暴騰 12''×3½'' は反落其他は總て手堅い。工型現品の拂底に僅かの需要に 5、10 圓と騰落し閑散ながらも波亂が多い。舶來品幾分入荷するものあり、落を見越されてはゐるがに反活氣あり。

鋼板 輸入の一段落に思惑買を加味し 3・2^m/m×4'×8'、5'×10' は暴騰した 4・5^m/m の 14 圓 50 錢、9・0^m/m の 15 圓 50 錢と不相變強調を續けてゐる。

外國爲替市中相場

月日/區分	Sep. 2	3	4	5	6	7	9	10
日 英	1/11-1/16	"	"	"	"	1/11-1/8	1/11-3/32	"
日 米	46-3/8	"	"	"	"	46-3/4	46-1/16	"
日 佛	11.80	"	"	"	"	"	"	"
備考	日佛のみ正金建値。							

東京大阪市中相場 (東京9月9日 大阪9月5日)

丸	銅		等邊山形鋼				工形鋼			
	東京	大阪	m/m	m/m	m/m	東京	大阪	東京	大阪	
6m/m	9.60	9.60	9x75x75	9.20	9.60	0.36"x5"x10"	12.80	14.00		
9	9.20	9.30	9x130x130	9.80	9.50	鋼板				
12	9.15	9.10	12x130x130	10.30	10.60	1.6m/m x 3' x 6'	13.50	13.00		
19	9.00	9.00	15x150x150	10.50	12.00	1.6x4x8	12.90	12.00		
25	"	"	不等邊山形鋼				3.2x4x8	12.80	12.50	
50	10.40	10.20	3/8" x 2" x 3"	9.90	9.50	3.2x5x10	12.50	13.00		
65	10.10	"	3/8" x 3 x 4	9.30	"	6.0x4x8	16.00	15.00		
			3/8" x 3 1/2 x 5	9.70	10.10	6.0x5x10	15.50	"		
			3/8" x 4 x 6	"	9.60	9.0x4x8	11.20	11.20		
			1/2" x 4 x 6	"	9.50	9.0x5x10	11.40	10.80		
			溝形鋼				薄鋼板(13枚)			
			1/4" x 2" x 4"	14.00	14.00	米	72	68		
			0.312 x 2 1/2 x 5	12.00	12.50	英	71	67.5		
			3/8" x 3 x 6	11.30	12.00	八幡	71	67		
			3/8" x 3 x 8	11.00	10.30	鋼力板				
			3/8" x 3 1/2 x 10	12.00	12.00	米	{170lbs	23.20	22.00	
			3/8" x 3 1/2 x 12	12.50	"	{100	12.60	12.30		
			工形鋼				英	{170	22.30	21.00
			1/4" x 3" x 6"	9.60	9.10	{100	12.00	11.50		
			3/8" x 6 x 12	12.00	14.00	八幡	{170	22.50	21.50	
			0.28 x 4 x 8	9.50	9.50	{100	12.00	12.00		
			0.35 x 5 x 12	12.00	12.00	線材				
			等邊山形鋼				No. 5#	95	90	
			m/m	m/m	m/m					
			6 x 50 x 50	9.40	10.00					
			6 x 65 x 65	9.20	9.40					

備考、單位 100 疋につき (置場渡値段)、但し薄は板 1 枚當り。線材は 1 疋當り。鋼力板は 1 箱當り。

昭和 4 年 8 月 分 契約 高

品 種	區 分	官廳小計		民間小計		8 月中合計			本年度累計		
		噸數	金額	噸數	金額	噸數	金額	噸當	噸數	金額	噸當
大中	條	473	67,245	10,412	940,367	10,915	1,007,612	92.31	41,067	3,987,735	97.10
中	條	944	147,365	5,450	476,562	6,394	623,927	97.58	29,033	2,894,532	99.70
小	條	241	38,996	8,886	800,614	9,127	839,610	91.99	36,136	3,506,725	97.74
鋼	板	4,208	666,736	16,436	1,482,544	20,644	2,149,280	104.11	62,218	6,872,530	110.04
重	軌條及附屬品	0	116	3,077	298,157	3,077	298,273	96.94	141,785	14,325,789	101.04
輕	軌條及附屬品	217	27,958	—	—	247	27,958	113.19	7,290	754,616	103.51
線	材	—	—	4,710	418,950	4,710	418,950	88.95	20,772	1,976,137	95.13
黑板、硅素鋼板、鋼力板	材	—	—	3,656	756,771	3,656	756,771	206.09	21,740	4,199,750	193.18
車軸、外輪、鍛成品	材	159	32,379	18	5,580	177	37,959	214.46	3,657	920,509	251.71
工具鋼、特殊鋼	材	1	1,865	751	34,424	752	36,289	482.57	1,055	101,999	96.68
其他鋼材	材	—	—	—	—	—	—	—	599	56,641	94.56
鋼材小計		6,273	982,660	53,426	5,213,969	59,699	6,196,629	103.80	365,332	39,596,960	108.39
短尺及屑	鋼計	70	4,928	6,253	513,611	6,323	518,529	82.01	25,372	1,895,102	74.69
以上		6,343	987,588	59,679	5,727,570	66,022	6,715,158	101.71	390,704	41,492,062	106.20
鋼片、鋼塊、シールドバー	計	—	—	131	9,242	131	9,242	70.55	38,339	2,758,251	71.94
以上		6,343	987,588	59,810	5,736,812	66,153	6,724,400	101.65	429,043	44,250,313	103.14
副製	品		5,013		166,176		171,186			2,797,520	

昭和 4 年 11 月 渡定期先物品種寸法別數量表 (單位噸) 備考 條鋼定期は二種定期の數量をも含む

寸法	噸數	本年	累計	寸法	噸數	本年	累計	寸法	噸數	本年	累計	寸法	噸數	本年	累計	寸法	噸數	本年	累計
丸 鋼				平 鋼				不等邊山形鋼				工 形 鋼				鋼 板			
<i>m/m</i>				<i>m/m</i>				<i>m/m</i>				<i>m/m</i>				<i>m/m</i>			
6	352	1,936		50	130	681		65	276	1,091		6×3	907	2,769		14×6	170	540	
8	325	1,622		55	—	20		75	388	1,531		7×3	215	656		16×6	—	625	
9	2,312	14,492		65	127	779		90	125	390		7×3½	64	198		18×7	159	594	
11	129	569		75	105	797		100	—	317		8×2½	69	533		20×7½	—	400	
12	1,550	10,044		90	105	698		130	588	3,630		8×3	365	1,239		24×7½	—	657	
50	310	2,414		100	41	200		150	1,459	6,140		8×3½	46	356		<i>m/m m/m</i>			
55	214	1,369		合計	1,277	8,166		200	136	506		8×4	—	200		200×100	190	816	
60	93	442		平 鋼				不等邊山形鋼				10×3½	—	340		200×150	52	159	
65	165	1,798		¾'	193	1,226		2½''×2''	61	195		12×3½	—	676		230×100	43	179	
70	104	312		⅞	129	966		3×2	—	815		15×4	—	369		250×125	343	854	
75	180	1,562		1	205	3,097		3×2½	121	1,088		<i>m/m m/m</i>				300×150	494	1,387	
80	86	263		1¼	235	3,292		3½×2½	—	369		75×40	125	550		合計	1,707	8,393	
80	86	263		1½	383	2,676		3½×3	102	1,480		100×50	407	1,375		型鋼合計	12,711		
90	76	639		1¾	149	1,462		4×3	—	1,763		230×80	32	232		(本年累計)	62,590		
95	39	118		2	528	3,736		5×3	255	3,119		230×90	31	141		條鋼合計	23,270		
100	50	193		2¼	91	274		5×3½	715	4,493		250×90	446	1,368		合計	134,450		
棒鋼	5,686	37,803		2½	488	2,725		5×4	109	330		300×90	321	969		鋼 板			
				3	412	2,948		6×3½	125	1,429		380×100	143	433		<i>m/m</i>			
				3½	125	1,254		6×4	296	3,149		合計	4,243	16,627		1-6	655	5,092	
				3⅝	82	945		<i>m/m m/m</i>				工 形 鋼				2-3	260	2,093	
				4	133	857		75×56	61	61		4''×3''	47	555		3-2	593	5,618	
				5	143	433		100×75	100	100		5×3	48	246		4-5	407	2,317	
				合計	3,296	25,891		125×75	160	160		6×3	55	378		6-0	535	3,606	
				合計	10,559		合計	2,105	18,551		6×5	48	245		8	—	237		
				(本年累計)	71,860		溝 形				6×4	53	179		9	60	747		
				等邊山形鋼				溝 形				7×4	53	179		12	—	115	
				<i>m/m</i>			¾''×2''	—	471		8×5	—	140		合計	2,510	19,825		
				40	558	2,956	5×2½	607	2,261		8×6	—	89		鋼板合計	2,510			
				45	419	935	6×2½	465	1,593		10×5	—	110		(本年累計)	19,825			
				5)	707	1,523					10×6	—	160		總合計	25,780			
												12×5	—	80		(本年累計)	154,275		

昭和4年7月中國別輸入數量表(單位噸)

品 種	英	佛	獨	白	澳	和	典	合	關	印	其他	計	本年度 累計
條及竿鐵 <small>(丸、角及平形にして徑 過又は巾15m/mを超 えざるもの)</small>	69	150	1,018	625	2	60					47	1,971	29,888
〃 (丸、角、平のもの其他)	572	415	1,285	896	244	13	82	31			24	3,580	34,248
〃 (テ-形及アングル形)	708		521	656		21		15			2	1,923	27,172
〃 (其 他)	457	1,046	1,327	333				45				3,621	38,811
レ - ル			2,224			145		1,999				4,368	21,483
ブイッシュ、プレート			78			3		79				160	873
ワイヤ-ロード <small>(巻きたるものにして徑 5m/mを超えざるもの)</small>												-	42
〃 (巻きたるもの其他)	320	1,427	6,886	811	135	303	255	2,579				13,316	102,817
鋼板 <small>(金屬を鍍せざるものにして厚 0.7m/mを超えざる圧着鋼板)</small>	81		204				5	238				528	5,928
〃 <small>(金屬を鍍せざるものにして厚 0.7m/mを超えざるもの其他)</small>	2,387		2,157	52				1,212				5,808	49,448
〃 <small>(金屬を鍍せざるものにして厚 3m/mを超えざるもの)</small>	129		486	393			11	223	21			1,263	10,963
〃 (金屬を鍍せざるもの其他)	210	42	1,453	857	1			141				2,704	24,139
〃 (錫鍍したる)(葉鐵及葉鋼)	2,496			27				4,145			28	6,696	46,789
〃 (亜鉛鍍したるもの)			108					39			64	211	1,092
〃 (其他卑金屬を鍍したるもの)	34		218	48	1			31			931	1,263	6,973
鐵 線	60		3	46	7		38	193				347	2,035
リ-ド、ワイヤ-	2	1										3	26
鐵 リ ボ ン	86	1	335				57	27				506	3,482
帶 (籐 鐵)	222	88	2,696	796				19				3,821	25,057
パラゴン、ワイヤ-	6						2					8	91
線 索	26	1	14					2				43	226
撚 合 線												-	57
バーブド、ツイスト、ワイヤ-												-	-
鐵 筒 及 管	103	1,148	2,383	54	2		2	2,620			221	6,533	35,236
特 殊 鋼(稅表一)	16	1	5	14	36		6	12	4		24	118	871
〃 (稅表二)	8		50		16		11	1			3	89	508
鐵道車輛用車輪及車軸								20				20	326
鐵道車輛用タイヤ			192									192	1,370
鐵道車輛用スプリング													
合 計	7,992	4,320	23,643	5,608	444	1,163	469	14,084	25		1,344	59,092	469,781
フェロ、マンガン-ス													766
フェロシリコン及 シリコスピ-ゲルアイゼン							30					30	261
其他の不可鍛成鐵合金			12				3					15	193
シートバー(テインバーを含む)	378		4,538	3,960				2,567			1,009	12,936	106,034
インゴット、ブル-ム、 ピレット及スラップ	142	502	2,111		30	484						2,785	25,622
ケツグスチ-ル及バンブスチ-ル							44					44	472
其他の塊及錠鐵			1									1	5
合 計	520	502	6,662	3,960	30	484	77	2,567			1,009	15,811	133,353
銑 鐵	732		500					2,647	8,825	44,095	5,691	62,490	430,725
屑 及 故 鐵	5,657		46	408				25,243	1,796	1,899	11,663	43,712	267,599